

平成30年

目黒区教育委員会

第45回定例会会議録

(平成30年12月4日開催)

第45回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年12月4日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	和田 信之
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|---|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成30年第4回区議会定例会一般質問の答弁
(要旨)について |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成31年度隣接中学校希望入学制度の申込結
果について |
| 日程第3 | 報告事項 | 平成30年度目黒区立学校における第三者評価
の結果について(案) |
| 日程第4 | 報告事項 | 目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会との懇談
会で寄せられたご意見について |
| 日程第5 | 報告事項 | 平成30・31年度青少年委員の欠員補充にか
かる委嘱について |

資料配布

- ・ 予算編成過程の公表シート(教育委員会関係)

(午前9時30分開会)

- 教育長 第45回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は櫻井委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成30年第4回区議会定例会一般質問の答弁(要旨)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成31年度隣接中学校希望入学制度の申込結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度目黒区立学校における第三者評価の結果について(案)(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
○委員 第三者評価結果報告書と改善プランは、校長の判断によりホームページに公表するとのことですが、公表していない学校はどのくらいありますか。また、この評価アンケートは、写しを全学校長に配布しているのでしょうか。

- 説明員 第三者評価につきましては、全校においてホームページ上で公表してほしいと申し上げておりましたので、現在もホームページ上で見られると思っております。
それから、内容については、今日報告させていただいたものを合同校(園)長会でそのまま報告させていただきますので、他の

学校長も他校の様子を理解できると考えております。

○委員 第三者評価の対象になるのは3年毎で、3年間これを受けて、改善していくわけです。これがこのまま3年間ホームページに載っていると、このままの状態が続いているのではないかという誤解が生まれかねないと思います。その点に関してはどのように考えていますか。

○説明員 今指摘いただいた点につきましては、校長会からもご意見をいただいているところです。既に改善が済んでいる場合もあるのに、ホームページに載せているということに対する違和感があるということ、誤解を招くのではないかということの意見です。そういった意見も含めて、今年度は校長の判断ということにさせていただきました。

○委員 昨年まで、A、B、Cの評価だったものを、二重丸、丸に変更した意図があれば教えてください。

○説明員 この第三者評価は、7年目を迎えましたが、この間もさまざまな改善をしてまいりました。その結果、今年度に至っていますけれども、昨年度、評価者に評価の違い、差が生まれていました。今、2人で3校区を回っていますので、その2人のペアとほかのペアとの違い、ペア同士の中での違いというのがあって、この評価者の評価のブレをどうなくしていくか、客観性と妥当性を担保するために、事務局で評価規準の作成を項目ごとに作りました。

その結果、今年度、この二重丸、丸というのをつけさせていただき、評価者によつての違いはなくなりました。ただ、トータルで見ると少し課題があるのではないかと感じています。もう一度、この第三者評価の在り方、結果の検証をしていかなければいけないと強く思っているところです。

○委員 今、お話を聞いていて、本当にそのとおりだなと思いました。評価規準を明確にすると結果はよくなっていきます。オール二重丸のところもありますし。評価規準をつくる時に、第三者の客観的な目を入れながら、評価が偏らない、妥当性をいかに担保するのかというのは、課題だと思いますので、常にチェックして是正をしていくしかないと思いました。意見です。

○委員 評価規準と実際の評価との違いがどこにあるかを、地域の方々や保護者が理解できるかどうかだと思います。例えば、具体的な例でいいますと、10ページの駒場小の評価で、近接する大学や高校との授業協力、これが行われた結果によって特色ある教育活

動が行われている、これは具体的だと思いますし、保護者の方々も地域の方々もよく理解できると思います。しかし、それ以外の項目は難しいと思います。

ですので、評価項目の中に具体的に、見える化を図っていただくという方向でお願いしたいと思います。

○委員 評価された後に、これがどう生かされるかが一番重要なことだと思います。学校ごとに同じテーマで、同じ評価をされているのであれば、各校長先生が一堂に集まってフリーディスカッションをして、自分たちの良いところ、悪いところを、共通認識して、そして改善する。こういう方法が必要かと思います。

○説明員 まず、この評価を受けて学校運営改善プランをつくっていきます。これは参考資料を見ていただきたいと思いますが、年度が残り4カ月という段階ですので、今年度の学校運営改善に間に合わないことから、実際には2日間で学校を訪問していただいている間に、校長には、口頭で評価者からお伝えいただいております。それを受けて校長は、学校運営改善に向けて事実上の努力をしているという状況です。

それから、ご提案いただいた、校長がフリーディスカッション等、実施状況を説明していくことについては、目黒区は3回の校長ヒアリングをしており、校長が自己申告と経営方針の説明をともに行っています。校長同士でやるということになると、フリーディスカッションの場を校長が独自に設けているかわかりませんので、一つの検討材料として、これは預からせていただきたいと思います。

○教育長 今回、教育委員会事務局において、例年、課題であった評価の在り方について、抜本的にメスを入れていただいたことについては、大変評価をしたいと思います。

一方で、この第三者評価の目的は、内部ではなく外部の視点から、改善を促していくというところに主眼を置くべきだと思います。しかし、一つひとつを見ていくと、表現にもよるかと思いますが、二重丸、丸の数が多過ぎるという感じがします。先ほども委員から出ていましたけれども、この評価のもととなる評価規準を内部で作っているからだだと思います。ですので、評価規準は、例えばこういう内容の水準に達すればA、こういう水準だとB、こういう水準だとCと。定量的な面と定性的な面と、要は、量と質の両面からの評価規準を第三者が入ってつくるべきだと思います。

います。これは要望です。

それから、今回出てきたものについて、お二人の評価者がいらして、それぞれが協議しながらつけていっている。これはいいと思いますけれども、全体として鳥瞰する組織が必要だと思います。例えば、専門外部評価委員会をつくって、全体を見て、外部から見た正しい判断をもう一度仰ぐ仕組みにつくり直す必要があると思います。これは要望です。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第4を議題とします。

(日程第4 目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会との懇談会で寄せられた
 ご意見について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成30・31年度青少年委員の欠員補充にかかる委嘱について
 て)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。

(資料配布)
 ・予算編成過程の公表シート(教育委員会関係)

- 教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時37分閉会)